

令和六年度 奈良県租税教育推進連絡協議会長賞

なぜこの世に税金があるのか

山辺高等学校山添分校1年 森岡 諒太

生きる為に必要な税金。

私は今、特に何も不自由なく生活しているが、もしも税金がなかったらもっともっと快適に生活できているのではないかと考えたことがある。お店で物を買う時に消費税がなければ安く買えるし、今までよりもっと貯金ができるのではないだろうか。

税金がない方がいい事ばかりなのに、なぜこの世には税金があるのだろう。税金がないとどうなるのか調べてみることにした。

調べてわかったこと、それは「税金がないと公共サービスがなくなってしまう」ということ。今は当たり前のように利用している道路も橋も修理するのに税金が使われている。税金のない世界では私たちのために道路や橋を修理するお金がないので、壊れたまま放置されたり修理した人から通行料の支払いを求められたりするかもしれないらしい。

他にも、今は救急車を呼べば無料で病院に運んでもらえるし、何かトラブルに巻き込まれた時に警察や消防の人に助けをもらうことができるが、これももちろん税金があるから。

税金がなくなると救急車を呼ぶにもお金がかかるし、家にどろぼうが入っても警察は犯人を逮捕してくれないかもしれない。その上いつも来てくれているゴミの収集車も来なくなり、街はゴミであふれ不衛生になり、病気が広がるようになるかもしれない。これだけみても税金がないだけで私たちの生活は一変してしまう。消費税がなければもっと安く買えるのにとか言っている場合ではない。

税金がない世界の一番の問題は教育問題だと思う。義務教育である小・中学校の教科書代や先生たちの給料は税金から出ているのである。それがなくなると、お金がない為に学校に行けない子が出てくるし、こわれた机やいすを直すことができず、教育の質が低下してしまい、必要な教育が行き渡らなくなってしまう。

今まで「税金なんてない方がいい事ばかりある」と思っていたけれど、調べれば調べるほど、私たちが生きていくために税金はなくてはならないものなんだとわかった。これから先、私が社会人になって払う税金が増えて、時には税金を払うのが嫌に思うこともあるだろうが、今回調べたことを忘れず、自分自身のため、家族のためにこれからも税金とつきあっていこうと思う。